

山城地域の高校再編に係る高校関係者説明・懇談会の概要

京都府教育委員会は、今年3月に、生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばすため、すべての高校が活力ある多様な教育活動が行えるよう、地域的なバランスを考慮の上、山城地域の12の高校のうち、宇治市域と八幡市域のそれぞれ2校を対象にして、発展的に再編する計画を公表しました。

計画を進めるに当たり、生徒・保護者はもとより、同窓生の皆さんも誇りとされるような高校にしていくことが大切であることから、高校のPTA・同窓会・後援会・学校評議員など学校関係者の皆様との説明・懇談会を開催し、熱心なご意見を多数いただきました。以下にその主なご意見についてお知らせします。

なお、同じ趣旨のご意見については、1つにまとめるなどの編集をしていますので御了解いただきますようお願いいたします。今後とも関係者の皆さんの御理解を得ながら、計画を進めて参りたいと考えております。

山城地域の高校再編に係る高校関係者説明・懇談会

- 1 日 時：(宇治市会場) 平成17年4月20日(水)
(八幡市会場) 平成17年4月21日(木)
 - 2 会 場：(宇治市会場) 宇治市生涯学習センター 19:00～20:10
(八幡市会場) 八幡市文化センター 19:00～20:20
 - 3 対 象：宇治・八幡市域の高校関係者
(PTA会長、同窓会長、後援会長、学校評議員など学校関係者)
 - 4 参加数：(宇治市会場) 26名 (八幡市会場) 12名
-

《宇治市域の主な意見》

(再編の時期・公表について)

- ・早い時点で対象校を公表し安心させることが、新しいことに向かって邁進していくことに繋がるものと考えます。
- ・将来の子どもたちのため、日本を背負う子どもたちのことを考え、教育委員会ともども力を合わせ、日本国のため、宇治のため、この街のため力を添えていきたいので、早い時点での公表を望む。

(再編整備について)

- ・高校改革については、大賛成であり、少子化が進む以上、国際化、人材育成というものは、もうすでに遅いくらいで、このことについて異議は全くない。
- ・個人個人の個性を伸ばすには、教員自身も変わり、熱心になっていかないといけない。
- ・再編、統合に関して、学校の歴史、周辺の状況、通学の利便性に十分配慮すべきである。
- ・非常に良い計画であると思う。再編対象校もスーパーモデル校になるのであれば、子どもたちのために地域も力を尽くさねばならない。
- ・色々な経済状況の家庭、是非公立高校へという家庭がある中で、統合により高校2校が1校になるということで、公立高校へ入りにくくなるという状況にならないよ

うにしてほしい。

(新しい高校(スーパーモデル校)について)

- ・スーパーモデル校については、同じ府立高校なのだから統合される高校だけでなく、他の学校でも同様の教育をお願いしたい。
- ・統合される学校に力を入れて、1校だけが抜き出て、他の高校が没するようになってはいけない。

(再編の手法について)

- ・統合の手順について、現在、対象となっている4つの高校で、それぞれに違いがあり、案2、案3で行うと、3年目の時支障がでることが懸念されるので、案1が良いのではないか。

(その他)

- ・中高一貫教育に関して、交通条件を勘案すると京都第2の都市、宇治市に設置すべきである。

《八幡市域の主な意見》

(再編の時期・公表について)

- ・保護者が一番心配しているのは、統合はいつか、ということである。
- ・再編の時期がはっきりしないと中学生がどんどん私学に流れてしまう。公立の人气が薄れることにもなりかねないので、早く公表すべきである。
- ・自分の子どもの学校がどうなるのか親としてはとても不安なので、不安が早く払拭されるよう広く広報をしてほしい。

(再編整備について)

- ・八幡市域と宇治市域とでは再編についての進捗が異なる。歩調を合わせることも大事だが、できることなら八幡市の出来る部分から先に進めてもらいたい。
- ・統合時に八幡、南八幡高校の両方を活用できる方法をとってほしい。
- ・見た目より質が大事だが、やはり教育の環境も大切なことである。統合を機会に全面改装などによりきれいにしてほしい。
- ・時代に合わせ色々多様なニーズに対応する学校の改革は、現状の八幡、南八幡の規模ではできないのか。また、両校を残したまま改革を進められないか。
- ・地域の願いが高まり八幡高校ができた背景があるので、多様な市民の方の声を聞いてほしい。
- ・高校進学を目指す生徒のために、高校改革の中で進学したい、入学したいという夢をかなえるような大きなものを残して欲しい。
- ・統合するということは決まったことなのか。白紙に戻ることはないのか、それとも進まないといけないのか。
- ・地域の人は八幡の高校を卒業して八幡に住みながら母校をみているので、そういった同窓会の思いを大切にしてほしい。

- ・将来的なことも大切だが、八幡の高校を選択して入学してきた現役の高校生が満足し、良かったと思えるよう考えていただきたい。

（新しい高校（スーパーモデル校）について）

- ・スーパーモデル校が先行すると、地域の子どもたちの敷居が高くなり私学に流れ、地域の教育の推進がマイナス方向になってしまう恐れがある。
- ・大学進学、進路についてとても良いことが掲載されている。こんな良いことをするのだと広く説明して、早い時期から、子どもが自分の意志で学校を選択できるようにしてほしい。

（中高一貫教育について）

- ・八幡市内の小学校の統合問題や、今回の中高一貫の話が出て、どうなるのかと不安に思っている子どももいると聞く。再編に関して素朴な疑問を持っている父兄の気持ちをくみ取ってほしい。
- ・中高一貫教育で、塾に行ったり私学にいかななくても大学にいけるとい希望をもっている方もいるので、その気持ちに添ってほしい。

（その他）

- ・学習はできるだけ少人数の中で学んでいく方が、教員も一人一人の個性をつかんで個に応じた指導という形でよいのではないだろうか。
- ・学校の小規模化で部活動等に影響があるのか。
- ・小規模化の中で一番の問題は教員の数が少ないことである。教員が高齢化して顧問がうまくいかないということがある。教員が増えていけば、今後クラブ活動も保障されいく。